



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



## 「柔道競技」

会期 令和7年10月5日(日)～7日(火)

会場 ツインアリーナ長浜



今大会の福島県女子チームは田村高校生と福島刑務官チームで出場。一回戦シード。二回戦は全大会優勝の東京と対戦。先鋒、吉田茜心(田村高3年)は立ち技で背負い投げ中心に果敢に担ぎ、寝技では相手の攻撃をしっかりと対処し消極的指導による僅差勝ちを見事収めた。次鋒、岡本雪乃(福島刑務所)はグラウンドスラム3連覇中の大森選手との対戦。一本のタイミングで入られた足車を技有で防ぐもそのまま抑え込まれ合わせ技となり敗退。中堅、結城風香(田村高3年)は相手が釣り手を取ろうとする瞬間に袖釣り込み腰を炸裂し相手を翻弄。片襟背負いで浮かせたり数々のチャンスを見せたが大内刈りに引っかかってしまい惜敗。副将、橋本紗希(田村高2年)は圧力負けせず五分の組み手を展開。途中で十字固めを受け左ひじを負傷。しかし前に出る姿勢は変えずに試合を進めるも内股を受け惜敗。大将、佐藤亜美(福島刑務所)は巧みな組み手運びで背負い投げを仕掛ける。五分の攻め合いであったが一瞬相手の低い袖釣り込み腰を許してしまい技有を取られ抑え込みの合わせ技で惜敗。福島1-4東京で敗退となったがIH上位入賞者や実業団、世界チャンピオンと強化選手ぞろいの東京を相手に善戦と言える試合であった。

